

ウクライナ危機：国際NGOオペレーション・ブレッシング 最新の現地支援活動、緊急支援寄付開始のお知らせ



世界90か国で人道支援を行ってきた国際NGOオペレーション・ブレッシング(本部アメリカ、バージニア州)は、この度ロシア侵攻により甚大な被害を受けているウクライナ市民と難民に対する人道支援を開始致しました。日本支部のオペレーション・ブレッシング・ジャパンは、ウクライナをはじめポーランド、モルドバ、ハンガリーなどの周辺国で緊急支援にあたっているヨーロッパ支部・アメリカ本部の活動を支援するための「ウクライナ緊急支援寄付」を受付けています。

ウクライナ人道支援

大きな戦闘が始まり一週間が経った現在、道路は通行不能となり、電気や水の供給も絶たれているため、ウクライナの数百万人の人びとが飢餓の脅威にさらされています。首都キエフに事務局を置くウクライナ支部では、侵攻が開始された翌日の25日から現地では食料キット、ボトル入り飲料水などの緊急支援物資を配布し、ライフラインが寸断された地域に発電機と燃料を届けました。市民の避難所となっている教会にも設置し、大切な人と連絡を取り合えるサポートをしています。

同時に、現地支部とヨーロッパ支部の関連団体が運営する「孤児訓練トレーニングセンター(孤児院を卒業した子どもたちへの職業訓練を行う施設)」を活用し、軍事攻撃を逃れてきた難民を受け入れる体制を整えています。

隣国へ逃れた難民支援

隣国のモルドバ、ハンガリー、ルーマニアにも大勢の難民が押し寄せており、避難を余儀なくされた人びとへの緊急医療、医薬品、安全な水、そして避難所の設営が急務となっています。

アメリカ本部は3日、緊急災害救援チームをポーランドに派遣し、ウクライナの戦場から逃れようとしている難民の波を支援するための緊急救援活動のベースを設置する予定です。救援チームには、医師と医療ロジスティクス専門家も含まれており、必要な医療を提供しながら、国境近くのキャンプに滞在している難民に対し、水ろ過装置、ソーラーランプ、衛生キットなどの救援物資を配布する長期の人道支援活動を計画しています。

「私たちは、できるだけ多くの人びとを支援することに全力を尽くしています。現在、戦闘や爆撃が続いているために外に出るのは危険で人びとに支援を届けるのは命がけですが、私たちは最善を尽くす努力を続けています。11年前の東日本大震災で日本が危機に瀕したとき、海外からの多くの人々が支援したように、日本からも多くの支援を届けたいと思います。」と日本支部代表のドナルド・トムソンは述べています。

オペレーション・ブレッシング・ジャパンは、この度のウクライナにおける人道危機を受け、ウクライナ、ポーランド、および各国で救援活動を行う本部・ヨーロッパ支部を支援するための、「ウクライナ緊急支援寄付」の受付を開始いたしました。皆さまの温かいご支援とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

特定非営利活動法人オペレーション・ブレッシング・ジャパン

■事務局：〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央1-13-4 泉エクセルビル3F

Email: Megumi.hirai@objapan.org Tel: 080-6042-1566 (担当: 平井)

※取材・記事掲載を希望される場合は担当者へご一報をお願い致します